

ありがとうとう北小・南小 こんにちは本川根小学校

今年4月より川根本町立北小学校と川根本町立南小学校を統合し、川根本町立本川根小学校を創設します。これは近年、両校の児童数が減少しているため、より良い学校活動を進めることを目的とし、行われるものです。

旧本川根町の小学校の歴史

昭和31年9月、本川根町が誕生したとき町内には、町立小学校が、東小学校、青部小学校、千頭小学校、崎平小学校、大間小学校、奥泉小学校、長島小学校の計7校がありました。その後、昭和38年に崎平小学校が千頭小学校に統合されたのを皮切りに、昭和40年には大間小学校が、また昭和41年には、長島小学校がそれぞれ奥泉小学校に統合。昭和43年には青部小学校が千頭小学校に統合されました。これは、静岡県下にお

ける学校統廃合や町の財政の状況と人口の減少を理由としたものでした。

そして昭和46年には、千頭小学校と東小学校が統合され、南小学校が誕生、これと同じ年に奥泉小学校が、北小学校と名称を改め、現在の北小学校と南小学校の2校となりました。(別表1参照)

統合の背景

北小学校(以下、北小)と南小学校(以下、南小)の統合は、児童減

少の問題がありました。児童数が年々減少し、北小においては平成15年の時点で全児童数が19人、その後

の推計児童数でも、平成17年に16人、18年には14人、19年には11人と減少する傾向が推測されました。また、南小においても、平成16年度で132人の児童数があるものの平成21年には100人を割り、その後も減少傾向にあるという推計がされています。

このような背景があり、町では2校を1校にすることによるメリット、「子どもたちのより多くの出会いとそれによる学力の向上」を重視し統合を検討しました。また北小では、平成14年度より複式学級を導入しており、学校統合によるその解消も一つのメリットでした。

統合までの検討

前述のとおり小学校統合の理由はありましたが、学校の存続はあくま

新しい学校は

北小学校と南小学校を統合し、今年4月より新しい学校、川根本町立「本川根小学校」が誕生します。

本川根小学校(以下、本川根小)は、現在の南小の校舎等を使用します。また、現在北小に通っている児童のために、通学用スクールバスを運行します。

本川根小は、北小と南小の良き伝統や特色を引き継いだ、楽しく学べ、子どもたちが健やかに育つことのできる学校としていきたいと考えています。

